



長島町議会議長 植元 敏光

夢と希望に満ちたまち『長島』 の活性化に向けて

謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。昨年中は、町

議会の運営に深いご理解と多大なるご指導・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、年の瀬の押し迫った12月16日に衆議院議員総選挙が行われました。この選挙により政権が交代しましたが、投票率は戦後最低を記録し、「全国世論調査でも」新政権の政策を支持」より「旧政権への失望」の割合が大きく上回り、消極的理由による政権交代となったようです。これは多くの課題や将来への不安の現れであるのかもしれませんが、景気対策やエネルギー政策など、日本の現状や将来を考えた政策が展開され

ることに期待したいものです。

このような情勢の中、長島町は合併して7年目を迎えます。現在、地方分権型社会の到来を受け、自己決定・自己責任による自治体運営が求められる、行政の真価が問われる時代となっております。本町にあつては、過疎化、少子・高齢化、農林漁業対策などの行政課題が山積しており、「長島町総合振興計画 後期基本計画」を基本に積極的な活性化対策が肝要であります。

町議会も同計画の推進に努めながら、町民の負託に応える議会となることを目指して、活発に活動しています。平成23年12月に「長島町議会

活性化調査特別委員会」を設置し、昨年は初めてとなる町

民と議会との意見交換会を大字ごとに11会場で開催し、町民の皆さんと懇談することができました。さらに、同規模自治体との比較や町の人口などを踏まえ、行財政改革の環境として、議員定数を2削減し14とする条例改正を12月の議会定例会で可決しました。この定数は次回選挙から適用されることになります。

今後も、議員自らが改革に立ちあがり、多様な民意の反映、町民の意見の集約などの役割に添えていく必要があります。議会としましては夢と希望に満ちたまち『長島』の活性化に向けて、さらなる努

力をしていく所存であります。

本年も、町議会に対し温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念し、年頭のごあいさつといたします。



2月から3月には、ツルの北帰行が見ることができる行人岳。今年も多くの来客が期待されます（頂上から鷹巣方面を望む。その先には伊唐島と獅子島が、遠くには天草の島々が見える）。